

基礎生物学委員会・統合生物学委員会合同
自然人類学分科会（第24期）第3回議事録

1．日時：令和1年7月28日（日）10：00～11：40

2．場所：日本学術会議5階5-A（1）会議室

3．出欠：

出席者：窪田、山極、稲村、河内、斎藤、諏訪、竹沢、長谷川、馬場、海部各委員
篠田（日本人類学会オブザーバ）、河村（日本霊長類学会オブザーバ）

欠席者：宮崎、印東、徳永各委員

4．議題

1）前回議事録承認

すでにメール会議にて承認済みであるが、再度確認した

2）以下の項目について話し合った

2-1）マスタープランについて

海部委員より、提出した「アジア人類史」の審査の途中経過に関する前向きな連絡を7月26日に受け取ったとの報告があった。結果の公式発表は来年1月とのこと。

2-2）縄文人に学ぶ食育について

馬場副委員長より、昨年度の人類学会大会のシンポジウムは参加者も少なく、矯正歯科研究者からの本格的な協力は得にくい現状だが、歯科関係者の一部には理解があり、彼らと協力して地道に取り組んでゆくと報告があった。

2-3）教育普及について

人材育成とも関連して、総合的な人類学の高等教育の現状を把握することが重要という認識で合意し、現状を具体的に把握するために、学会員が担当する講義内容の悉皆調査アンケートを日本人類学会、日本文化人類学会、日本霊長類学会に依頼することとした。

統合人類学の出版物を検討することとし、稲村委員に放送大学のプログラムと関連して企画案作成を依頼した。同時に、アメリカの人類学教育の基礎テキストを比較検討することとした。

2-4）今後のシンポジウム等について

文理融合の観点から、文化人類学分科会と合同で総合人類学の方向性を目指すシンポジウムまたはフォーラムを開催することを検討することとし、竹沢、斎藤、海部委員に企画案作成を依頼した。可能ならば、今年度中に開催したい。